ありがとう 大平小学校

大平、広野、片野、中原、田ノ野、風野の6つの地区の子どもたちが、かけがえのない時間を過ごした学び舎である大平小学校。令和5年3月をもって休校となり、150年という長い歴史にいったん幕が下ろされました。多いときには、220人を超える児童数がいましたが、年々減少をたどり、昨年度は3人に。このような状況から、保護者、地域住民と学校で協議を重ね、子どもたちが「集団の中で学び社会性を身につけることや、たくさんの友達と切磋琢磨してほしい」との願いから、休校の決断をしました。今回、地域と共に歩んだ学校の歴史や子どもたちの思い、休校式の様子をご紹介します。

大平小学校の沿革（主なできごとを抜粋）

- 明治5　広野・中原に小学校を設置
- 40　大束村立片野分教場となる
- 昭和24　現在地に移転。学校区拡張（中原・大平・田ノ野編入）
- 29　町村合併により串間市立大平小学校となる
- 38・46　学校給食開始
- 校舎改築
- 52　大平地区の伝統芸能「大平棒おどり」を継承する「大平小文化財愛護少年団」結成
- 58　大平小へき地集会所（大平小体育館）完成
- 46　大平川聖プール完成
- 61　UMKテレビ宮崎「サンデー宮崎」で大平棒おどりの放映
- 平成元・7　天皇・皇后両陛下（当時）が本市を訪問された際に大平棒おどりを披露
- 9　全国花いっぱいコンクール「優良賞」受賞
- 16　北方・大束地区学力向上実践研究発表大会会場校（160人参加）
- 令和2　県体力つくり奨励賞受賞
- 4　「人権の花」運動モデル校委嘱

大平小へき地集会所（大平小体育館）完成

3/19(日) 休校式の様子

「子どもたちのために」

インタビュー
大平小学校PTA会長
山口（やまぐち） 昌弘（あきひろ）さん

大平小学校は、3年連続で入学者がおらず、さらに近年は、年々児童数が減少していることもあり、運動会などの学校行事の開催が難しくなるなど、教育面で子どもたちに影響が出ている状況でした。地域住民の方からも心配する声が上がっており、こうした現状を踏まえて、昨年度初めに学校側へ休校に向けた相談を行いました。その後は、保護者や地域の方々と話し合いを重ねて、最終的に今回の決断をしました。

休校は子どもたちのためを思ってでした。「今いる子たちが卒業するまで待ってもらえないか」などの声もありましたが、「新しい環境で新しい友達と励まし合いながら楽しく学校生活を送ってもらいたい」という思いで一致しました。

私もこの学校の卒業生で、たくさんの思い出があります。休校は寂しい思いでいっぱいですが、今後は地区の伝統芸能「大平棒おどり」を子どもたちと一緒に継承するなど、地域のために頑張っていきたいと思っています。

「大平小を誇りに大きく羽ばたいて」

インタビュー
大平小学校
木塲（こば） 麻利子（まりこ）校長先生

大平小学校に昨年度赴任し、1年間と短い時間でしたが、たくさんの思い出があります。子どもたちの印象は何といっても「素直さ」と「仲の良さ」。

地区の伝統芸能である大平棒おどりを新しく来た先生に教える際に、優しくそして誇らしそうに教えてくれました。また、給食はランチルームで先生と一緒に食べるのですが、誕生日の人がいたら黒板に飾り付けをしてみんなでお祝いする習慣があり、子どもたちはもちろん先生もお祝いしてくれました。

その他、地域住民の方との合同運動会「わくわくスポーツフェスタ」では、みんなで一緒に楽しく競技する姿を見て、「温かい」気持ちになりました。話し尽くせないほど「ほっこりした」思い出がありますが、大平小は地域住民の方ともつながりが深いアットホームな場所でした。子どもたち、保護者、地域住民の皆さんには本当に感謝しています。

休校は苦渋の決断だったと思いますし、私自身も寂しく思います。子どもたちには大平小で学んだことを誇りに思い、新しい場所でたくさん友達を作って一緒に学び、夢に向かって大きく羽ばたいていってほしいです。